

学校だより



けやき

平成30年度第6号

文京区立指ヶ谷小学校

平成30年9月28日

「自尊感情」？ それとも、「自己有用感」？

生活指導主任 片倉 徹

○「自尊感情」とは

心理学用語 Self Esteem の訳語として定着した概念です。一般的には、「自己肯定感」「自己存在感」「自己効力感」等の語などと、ほぼ同じ意味合いで用いられているようです。

◎「自己有用感」とは

「自己有用感」は、他人の役に立った、他人に喜んでもらえた、…等、相手の存在なしには生まれてこない点で、「自尊感情」や「自己肯定感」等の語とは異なります。

「自分に自信がもてず、人間関係に不安を感じていたりする状況が見られたりする」という指摘を受け、その対策として“子供の「自尊感情」を高めることが必要”と主張される考えは少なくありません。しかしながら、日本では、児童生徒の「規範意識（きまり等を進んで守ろうとする意識）」の重要性も強調されています。それらを併せて考えるなら、「自尊感情」よりも「自己有用感」の育成を目指す方が適当と言えるのではないのでしょうか。

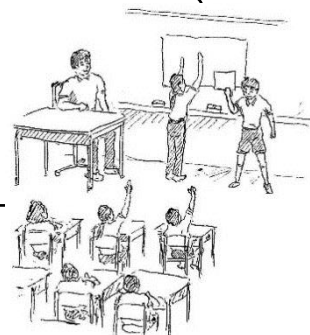
さて、指ヶ谷小学校でも、子供たちの「自己有用感」が高められている瞬間は、数多く見られます。例えば、「縦割り班活動」です。各学年3～4名の集団で遊んだり、関わったりするのが縦割り班活動です。普段、同級生の中ではなかなかリーダーシップを発揮できない高学年の子供も、この時ばかりは違って、立派なリーダーとして活躍します。「自分の役割があり、それをやり遂げることができた」「自分の頑張りによって、下級生が笑顔になってくれる」「友達や先生が、自分が本当に頑張ったことを認めてくれる」など、実際の経験をもとに自己有用感が高まっていきます。また、その自己有用感に裏付けられて、自尊感情の高まりも期待できます。

このように自己有用感を高めるには、「子供をよく見て、その子の頑張りに応じてほめること」、「一人一人に活躍の場を与えて、見守り、やり遂げさせ、達成感を味わわせる」ことが大切となります。また、様々な調査の結果から、自己有用感の高い児童は学力が高いことや、自己有用感の高い子供のクラスはいじめが起きにくいという結果も報告されています。

11月にある『けやきの森フェスタ』などの行事でも、子供たちの「自己有用感」を高める機会は多くあると思います。人とすすんで関わることに喜びを感じられる、社会性を育てるためにも、「自己有用感」をキーワードに子供たちの活躍する場を、多く作っていききたいと思います。

10月の生活目標

○じょうぶな体を作ろう ○自分の思いを正しく伝えよう



10月行事予定

	曜	行 事	ひろば
1	月	都民の日	×
2	火	全校朝会 安全指導 歯科検診（全） 委員会	
3	水	朝読書 避難訓練	
4	木	運動集会	
5	金	朝計算 歯ッピカ（1） いのちと心の授業（5）	
6	土		×
7	日		×
8	月	体育の日	×
9	火	全校朝会	
10	水	朝読書 歯ッピカ（3） 4時間授業	
11	木	児童集会 たてわり班遊び②	
12	金	朝計算 歯ッピカ（6） 社会科見学（3）	
13	土		×
14	日		×
15	月	全校朝会 クラブ活動 歯ッピカ（2）	
16	火	朝漢字 社会科見学（4） スーパーマーケット見学（3） 挨拶運動 始	
17	水	朝読書 研究全体会（1・2以外4時間授業）	
18	木	音楽集会	
19	金	朝計算 歯ッピカ（5）	
20	土	土曜授業公開（水曜時間割4時間） 教科の授業地区公開講座	
21	日		×
22	月	全校朝会	
23	火	朝漢字	
24	水	陸上記録会応援集会 学校保健委員会 B時程	
25	木	朝読書 陸上記録会（6）	
26	金	朝計算 陸上記録会（6） 予備日	
27	土		×
28	日		×
29	月	全校朝会 挨拶運動 終	
30	火	朝漢字	
31	水	朝読書 研究全体会（2・1以外4時間授業）	

* スクールカウンセラー来校日

丸地知美さん：2日（火） 9日（火） 15日（月） 22日（月） 29日（月）

鹿内 恵さん：4日（木） 11日（木） 18日（木） 25日（木）

8：10～12：25 13：00～16：55

* 校舎内工事のため、玄関近くでの車両等の出入りが多くなりますので、安全面を考え、こどもひろばは中止とさせていただきます。

本校のホームページ

URLはこちら → <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/sasugaya-ps/>

水泳学習 今年度の学習終わる

体育主任 山田 将太

今年度の水泳学習が終了しました。水泳学習を振り返ってみると、今年は特に暑い日が多く、気温・水温共に高い日が続いていました。それでも子供たちは、水泳の学習でしか味わうことのできない「水中で体を動かす楽しさ」を存分に楽しむことができました。大きな事故もなく、このように充実した学習ができたのは、保護者の皆様がお子様の体調をいつも以上に気にしてくださったり、水筒を持たせてくださったりと、サポートしていただけたからだと思います。ありがとうございました。子供たちには、毎年の水泳学習を積み重ねて、達成感や充実感を味わって欲しいと思っています。来年度もご協力よろしくお願いします。

縦割り班活動 継続は力なり 特活主任 伊能 宏仁

100周年の時から始まった縦割り班活動も、今年度で4年目を迎えました。どの年度も、初めこそまとまりや盛り上がりには欠けることがよくありますが、6年生が中心となり、先頭に立って引っ張ってくれることで、よりよい集団に成長していきます。緊張した面持ちの子も、3回目の頃には笑顔です。教室の中もとてにぎやかになります。

縦割り班の活動(遊び)を決めるのは6年生です。「こんなことをしたら危険ではないのか」「どんなルールにしたなら楽しんでもらえるのか」など、様々な視点で真剣に話し合います。時に互いの考えがぶつかり、言い合いになることもあります…それもすべては、みんなに「楽しんで」もらうためです。そうやって、同じ目標に向かって一生懸命に話し合える6年生がいる、この指ヶ谷小学校は本当に素敵だなと思います。

4年目を迎えよき伝統が脈々と受け継がれている縦割り班活動。これからのますますの発展を期待しています！

低学年遠足

3年担任 平間 いずみ

指ヶ谷小学校の特長的な行事である低学年遠足。今年度は、文京区に一番近い動物園である上野動物園へ行きました。予定されていた9月21日（金）は雨のため行かれませんでした。体育館で遠足班ごとにお弁当を食べて交流を深めました。

延期となった9月27日（木）は、小雨が時折降りましたが、マナーよく電車に乗って、3年生中心に動物たちを見たり、観察したりして来ました。3年生はこの日にむけて実行委員を中心に学年集会を開いたり班で園内をどのように回るか考えたりして準備をしました。また、上野動物園で飼育されている動物について調べる学習にも取り組みました。1,2年生は、他学年と活動する経験を積んで、動物の学習をすることができました。

保護者の皆様には、2回もお弁当を作ってくださいありがとうございました。